

# 気候講演会

## 石垣島でも地球温暖化が進んでいる！？

石垣島地方気象台は、世界気象機関（WMO）から国内初の百年観測所に認定されました。気象台の観測によると、石垣島の年平均気温は20世紀の100年の間に1.2度上昇しており、温暖化の傾向が出ていたことがわかりました。

## 私たちの暮らしへの影響は？

この急激な気候の変化は、私たちの暮らしにどのような影響があるのでしょうか。どのように適応すればよいか、一緒に考えてみませんか？

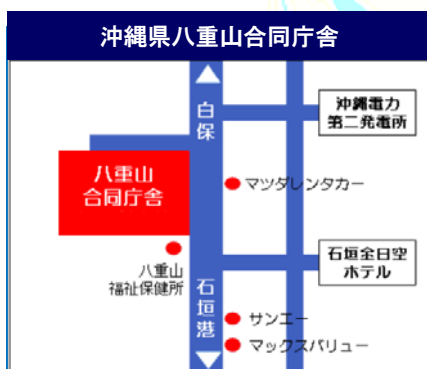
日時：平成31年1月24日（木）

18時30分～20時50分

（開場18時00分）

会場：沖縄県八重山合同庁舎（2階大会議室）

入場無料



会場案内：沖縄県石垣市真栄里438-1  
沖縄県八重山合同庁舎2階

主催：石垣島地方気象台

共催：沖縄県、石垣市、竹富町、与那国町

後援：株式会社八重山毎日新聞社、株式会社八重山日報社、石垣ケーブルテレビ株式会社、  
有限会社石垣コミュニティーエフエム、地球ウォッチャーズ-気象友の会-

お問い合わせ・お申し込み：石垣島地方気象台

【TEL】 0980-82-2170 【FAX】 82-2158

【E-Mail】 jma-ishigaki@met.kishou.go.jp

【URL】 <https://www.jma-net.go.jp/ishigaki/>

（お申し込みは、Eメール、お電話、FAXのどちらでもOKです。FAX用紙は裏面を参照お願いします。）



# 講演概要

## 「～温暖化の現状と将来予測、 気候予測情報の最新の活用例を紹介します～」

気象庁地球環境・海洋部気候情報課 異常気象情報センター  
気候リスク対策官 萱場 亙起（かやば のぶゆき）



地球温暖化等によって異常気象によるリスクが増大しています。本講演の前半では、100年以上続く石垣島での気象観測データをもとに異常気象など気候変動の実態を紹介するとともに、将来予測についてお話しします。後半は、気象予測技術の向上によって気象予報の利用も広がってきていることから、気候予測情報の最新の活用事例を紹介いたします。皆さんの仕事や生活にも役立つ新たな気づきやきっかけになれば幸いです。

## 「気象情報・・・見るだけではもったいない。使ってみよう！」

沖縄気象台業務課 情報利用推進官 浅見 幸宏（あさみ ゆきひろ）



農業、水産業、観光業・・・いま、さまざまな産業界で、気象情報・気象データが利活用され始めています。従来は勘と経験に頼っていた作業を、気象データを用いて「なぜこうなるのか？ より良い対策はなにか？」と、より客観的・科学的に「見える化」することによって、農業・水産業のみならず様々な産業分野において新たな可能性を見出すことにつながるかもしれません。いくつかの具体例も交えてご紹介します。

## 「八重山のマンゴー栽培に気象データを活用しよう！」

沖縄県農業研究センター石垣支所 研究員 伊波 聡（いは さとる）



沖縄県では、昭和50年代からマンゴーの経済栽培が本格化し、パインアップルと並ぶ主要熱帯果樹へと成長しています。しかし、近年では不安定な気象条件に起因すると思われる出蕾の遅延や着花不良、果実の小玉化など様々な問題が発生してきています。今後、気候変動に伴う不安定な気象条件でも、マンゴーを安定生産するためには、生産現場において気象データをうまく活用していくことが対策の1つとなると考えられます。

今回は、沖縄県農業研究センター石垣支所における気象データの活用事例として、①積算温度を活用したマンゴーの収穫方法、②マンゴー用積算温度を用いた収穫盛期の予測、③過去の気象データから見えるマンゴーの出蕾の傾向をご紹介します。

気候講演会FAX申込用紙 （石垣島地方気象台FAX：0980-82-2158）

氏名（代表者）	人数	連絡先